

栃木県

定 数： 4 名

立候補者数： 4 名



氏名 南雲 光則

都道府県士会 栃木県

年齢 57

勤務先名称 自治医科大学附属病院



氏名 金子 純一郎

都道府県士会 栃木県

年齢 54

勤務先名称 国際医療福祉大学

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

開かれた士会として、士会員の声を協会に届け、協会と士会員の橋渡しができるように代議員としての役割を果たして参りたいと思います。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

栃木県の理学療法活動において学术交流を更に活性化させていき、県士会活動を基盤とした産学官連携を発展させていきたいと考えております。栃木県の人口は現在約189万人であり、5年前から約6万人減少し、65歳以上の老年人口は約29.6%を占める超高齢社会となっています。今後も高齢化に対する対策が加速し、健康政策にも理学療法分野として積極かつ持続可能な参画が必要であり、特に人生100年時代に向けて、健康寿命の改善や脳卒中や糖尿病といった成人病に対する罹患率の対策は各自治体と更に密接に協力する必要性を感じております。そこで、市民講座や包括的支援事業をさらに発展させ、有益な事業へと共有することを考えております。この活動を通じて、関連企業、地域、そして自治体と連携することで、理学療法分野の更なる連携事業の拡充と発展に向けて努力していきたい所存です。



氏名 細井 直人

都道府県士会 栃木県

年齢 59

勤務先名称 だいなりハビリクリニック



氏名 加藤 浩子

都道府県士会 栃木県

年齢 44

勤務先名称 菅間記念病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】
 平成18年 4月～現在 一般社団法人栃木県理学療法士会理事
 平成23年 7月～現在 一般社団法人栃木県理学療法士会副会長
 平成22年度～平成24年度 公益社団法人日本理学療法士協会代議員
 平成28年度～現在 公益社団法人日本理学療法士協会代議員

【立候補の趣旨】
 平成18年度より栃木県理学療法士会理事、平成23年度から副会長を拝命致しました。

今後の日本は、超少子高齢化、人口減少、多死社会、社会保障費漸増等未経験状況に向かっています。日本国民全てが、知恵を絞り、コミュニティー強化を図り、地域共生社会に向け歩んでいかなければならないと思っています。

本協会は、協会員約13万人弱、平均年齢35歳とエネルギーポテンシャルは高いが、未だ未成熟な状況であります。職能団体としても、他の職能団体と比較検討すると未成熟感は否めません。未成熟だからこそ、歩むべき方向を様々選択できるため、限りなく真意・高質的な目標に向かい歩んでいく決意であります。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

・役員歴
 【栃木県理学療法士会】
 2011年 理事及び学会部長
 2013年 理事及び学会部長及び理学療法資質向上検討委員会委員長
 2016年 理事及び学会部長及びワークライフバランス部部員
 2017年 理事及び学術局長及びワークライフバランス部部員（～2022年）
 2018年 第37回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員長
 2023年 副会長及び学術局長
 【日本理学療法士協会】
 2020～2021年 登録理学療法士制度委員会委員

・立候補の趣旨
 私は2011年より学術局学会部長を拝命し、査読システムの構築、オンライン学会への移行準備など栃木県理学療法士会の学術的な環境を整え、学術活動の活性化に取り組んでまいりました。また理学療法資質向上委員会では理学療法士の資質向上のため研修会を実施し、ワークライフバランス特別委員会においては、部員として5年ごとの会員へのアンケート調査等情報共有に努めて参りました。また県学会と連携し、学会開催時に託児所の設置しより多くの会員が学びやすい環境を整えてまいりました。

私自身2023年度から副会長となりましたがまだまだ未熟であり、今後日本理学療法士協会の方向性の理解を深め、これまでの士会での経験を活かし、協会と士会、士会員をつなげるような役割を果たしてまいりたいと存じております。